

## 中学生に海技者への手掛かりを紹介

～ 2014 年度 国立高等専門学校（商船学科）5 校合同進学ガイダンス～

日本船主協会は、2008 年 7 月に「人材確保タスクフォース」を設置し、優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っている。この一環として、今般、国立高等専門学校（商船学科）5 校（富山・鳥羽・広島・大島・弓削）合同の進学ガイダンスを全国 3 カ所で開催した。



神戸は青雲丸船内で 写真は神戸会場の模様



広島会場の模様

商船学科を有する国立高等専門学校（以下、高専）5 校の合同進学ガイダンスは 2008 年から開催しているもので、今年で 7 回目。2014 年度のガイダンスは、国土交通省、文部科学省の他、富山・三重・広島・山口・愛媛・兵庫・神奈川各県の教育委員会、航海訓練所、全日本船舶職員協会及び日本長距離フェリー協会に後援をいただき、6 月 28 日に広島（TKP ガーデンシティ広島）、7 月 6 日に横浜（「氷川丸」船内）、7 月 20

日に神戸（神戸港に停泊中の航海訓練所練習船「青雲丸」船内）でそれぞれ開催した。

ガイダンスには、3 会場合わせて中学生とその保護者、教員等約 188 名(※1)が参加。はじめに鈴木修副会長が挨拶し、わが国にとっての海運業の重要性や優秀な日本人船員の必要性に言及した。横浜会場となった氷川丸では、金谷憲夫船長が氷川丸の歴史や当時の船の様子について紹介した。高専の先生(※2)からは、海技士資格が得られる商船学科の概要や、学校生活等について説明があった。

次に、高専卒業生も多く活躍する長距離フェリー会社を代表して、日本長距離フェリー協会の事務局 長田栄弘様より業界の説明、その後、高専を卒業後、現在は当協会会員会社の第一線で活躍している航海士及び機関士(※2)が、高専入学の動機や学生生活の思い出、船員の業務とそのやりがい等について、写真や動画を交えつつ紹介した。



横浜は氷川丸船内で 写真は横浜会場の模様

また、会場には学校毎の相談ブースを設け、各校の先生や現役の学生が各校の概要や特色について参加者に説明した他、入試や学生生活、卒業後の進路等に関する参加者からの様々な質問に親身に対応した。



各校相談ブースの様相（写真左神戸会場・同右横浜会場）

高専の学生が乗り組む練習船の雰囲気に参加者に体感してもらうべく、神戸会場では、青雲丸の船内見学会も実施した。

各会場とも、講演内容を踏まえ、商船系高専への進学や船員の仕事・生活について各校の先生方や高専出身の若手海上社員に熱心に質問する中学生や保護者の姿が多く見られ、船員という職業に対する参加者の関心の高まりが感じられた。



青雲丸での船内見学の様相（神戸会場）

当該進学ガイダンスに参加した上で高専に進む中学生も増えていることから、当協会としても海運業界への人材確保に向けた重要な取り組みと位置づけ、来年度以降も引き続き教育機関と連携し進学ガイダンスを開催する予定である。

(※1)3会場の参加者(計188名)内訳

広島会場：90名（中学生・保護者85名・教師等5名）、横浜会場：45名（中学生・保護者39名・教師等6名）、神戸会場：53名（中学生・保護者52名・教師等1名）

(※2)2014年度ガイダンスの講師一覧

【高専側説明を担当された教官】

広島会場：国立広島商船高等専門学校 辰巳公朗先生、

横浜会場：国立鳥羽商船高等専門学校 伊藤友仁先生、

神戸会場：国立弓削商船高等専門学校 益崎真治先生

【ご協力高専卒業生の皆さん】

広島会場 川崎汽船(株) 小原 光 二等航海士、日本郵船(株) 藏田恒志郎 一等機関士

横浜会場 (株)商船三井 梅田尚宏 二等航海士、(株)商船三井 渡邊 真史 二等機関士

神戸会場 JX オーシャン(株) 堀井堅教 二等航海士、JX オーシャン(株) 濱田勝宏 二等機関士